

【緑地の樹】

コブシ

まだまだ裸の樹の多い早春に象牙色の花を樹全体に咲かせる”こぶし”。冷たい空の下、これから始まる爛漫の春を予告するように静かに咲く姿はとても力強く感じられます。

我が家は緑地に隣接しています。20年ほど前に引っ越してきて初めての早春に咲き誇るコブシの花が西向き大きな窓枠いっぱい樹ごとすっぽりとおさまり、まるで一幅の絵画を見るようでとても素敵でした。朝昼夕と日の移ろいに表情を変える姿を飽きることなく眺めて楽しんでいました。

美しい絵画もそれから10年ほどは輝いていましたが、周辺の木々の成長の影響でしょうか、次第に衰えが目立つようになりました。そしてこの2～3年はすっかり勢いがなくなり、咲く花もまばらに寂しい姿になってしまいました。ところが元気だった頃のコブシがいつのまにか子孫を残してくれて



プロフィール：モクレン科 モクレン属
花広場入り口付近に高木が一本、西側斜面のきわに一本、南側住宅近くに一本。

いたのです。落ちた実から芽を出し、幼木から成木にしっかり育っていました。

3年ほど前から少しずつ花をつけ始め樹形も見る見るうちに整い、今年はたくさん花を咲かせてくれています。

自然界はこうして世代交替が行なわれていくのですね。コブシはサヤに入った赤い実を沢山地上に落とします。その実が地に根付き目を出すのはほんのわずかなのでしょう。私の好きなコブシ

がこうして代々引き継がれていく様子は、とてもうれしい眺めです。

コブシは落葉の高木です。山野に自生し、早春に白い花を咲かせ、秋に果実が裂けて赤い種子が白い糸で垂れ下がります。

(斎藤泰子)